

東京湾再生のための NPO、企業への期待

-官民連携による東京湾スクラムコミュニケーションによる脱炭素・自然共生社会を目指す-

令和 4 年度 CSR-NPO 未来交流会

■開催日時 令和 5 年 3 月 23 日 (木) 13:30~16:10

■開催場所 AP 虎ノ門 11 階 A 会議室&Zoom ライブ配信

■主 催 東京湾再生官民連携フォーラム

■協 力 経団連自然保護協議会、一般財団法人セブン-イレブン記念財団

■参加団体 43 団体、50 名

プログラム

I 部 基 調 講 演		時間
ご挨拶	東京湾再生官民連携フォーラム 議長 來生 新 氏	13 : 30
講演-1 これからの東京湾再生のための行動計画	海上保安庁海洋情報部技術・国際課 主任海洋情報技術官 服部 友則 氏	13 : 35 ~ 13 : 55
講演-2 「30by30 目標の達成に向けて ~民間等と連携した生物多様性保全の推進~」	環境省 自然環境局 自然環境計画課 海洋生物多様性調査専門官 守 容平 氏	13 : 55 ~ 14 : 25
講演-3 命を育むみなとのブルーインフラ拡大プロジェクト	国土交通省 港湾局 海洋・環境課 港湾環境政策室 室長 青山 紘悦 氏	14 : 25 ~ 14 : 45
II 部 事 例 ・ 情 報 交 流	10 分休憩	時間
① 事例 東京湾 UMI プロジェクトとは	国土交通省 関東地方整備局 港湾空港部 事業継続計画官 岡島 達男 氏	①14 : 55 ~15 : 15
② 事例 マルハニチログループにおける 東京湾 UMI プロジェクトの取組み	マルハニチロ(株) 経営企画部 サステナビリティ推進グループ 主任 志村 遥夏 氏	②15 : 15~ 15 : 35
③意見交換 質問等	事務局 アンケートの実施	③15 : 35 ~16 : 00
④30by30 アライアンス参加について	東京湾再生官民連携フォーラム 議長 來生 新 氏	④16 : 00~ 16 : 10

3/23(木) AP 虎ノ門会議室で対面と Zoom 併用による交流会をいたしました。

今回もコロナへの配慮を行い、一部会場での対面による出席も可能にしておりますが、主には、Zoom によるネット利用による講演会方式での開催になりました。



会場の様子

タイトルにあるように行政の施策を題材にして NPO や企業の協力

をどのように引き出せるか、または協力できるか、そして NPO や企業に対するメリットをどのように感じてもらうかなど、直面している課題を発表して質疑応答をおこないました。

また、それぞれの施策が、直面している社会・自然課題、グローバル共通課題ともなり、その関係性についての活発な質疑応答が行われました。

さらに、事例では、関東地方整備局の活動と協議会での民間企業による具体的な取り組みを紹介していただきました。



來生議長からのご挨拶